

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-81601
(P2014-81601A)

(43) 公開日 平成26年5月8日(2014.5.8)

(51) Int.Cl.		F 1			テーマコード (参考)
G 1 0 K 15/04 (2006.01)		G 1 0 K	15/04	3 0 2 D	5 D 1 0 8
G 1 0 G 1/00 (2006.01)		G 1 0 G	1/00		5 D 1 8 2

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2012-243138 (P2012-243138)
(22) 出願日 平成24年10月17日 (2012.10.17)

(71) 出願人 512284826
深谷 道雄
兵庫県姫路市福本町8番地
(72) 発明者 深谷 道雄
兵庫県姫路市福本町8番地
Fターム(参考) 5D108 BD02 BD03 BD13
5D182 AA16 AA20

(54) 【発明の名称】 五線上に音譜文字を表記する歌詞付き楽譜およびその使用

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】カラオケ歌唱時に、五線上に音譜文字を表記したものを歌詞表示とあわせて表示する。

【解決手段】音譜の長短を の長短で表し、高低は を五線上に配置し、 の中に歌詞をひらがな又はカタカナ又はローマ字で一音一音書き込みカラオケを歌いやすくする。

【選択図】 図 2

図面代用写真(カラ)

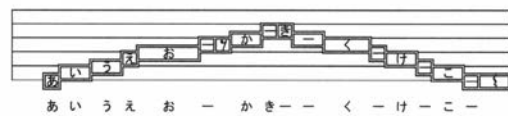


図1の実績を図2の五線上に音譜文字で表記する事により音楽に精通していない者でも音符の長短や高低が一目で分かり、歌いやすくなる。カラオケで高得点を望む者としては、これまで限界と思っていたものが、高得点でない理由を認識することが出来、再度、高得点をねらって歌う楽しみを味わえる。このことを目的としたものである。

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

音譜の長短を の長短で表し、高低は を五線上に配置し、 の中に歌詞をひらがな又はカタカナ又はローマ字で一音一音書き込みカラオケを歌いやすくする。時には数音書き込む事もある。又、カラオケをテレビ画面を見ながら歌うときは、この楽譜と従来の歌詞を同時にテレビ画面に映して流すこと。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この発明は、これまでの歌の本では音譜と歌詞が別に表記してあり音楽を専門に勉強しない人にはうまく歌えない。これを解消して普通の人でも簡単に歌えるようにするものである。

10

【背景技術】**【0002】**

従来、音譜の長短、高低は歌詞と別表記で歌詞を見ながら音譜を見て又は音譜を見ながら歌詞を見て歌っていた。訓練とか慣れが必要であった。

【発明の概要】**【0003】**

これは、次のような欠点があった。従来、カラオケを歌う時、歌手の歌を聴きながらまた同時に楽譜を見て覚えていたが、どうしても音符の高低、長短、伸ばす所、休符が分かりにくかったが、この五線上に表記された音譜文字を見ながら歌えば簡単に覚えられ歌う事が出来る。本発明は以上のような欠点をなくすためになされたものである。

20

【課題を解決するための手段】**【0004】**

音譜の長短は の長短で表し、音譜の高低は五線上の高低で表す。休止音譜も伸ばすところも の長短で表記する。

本発明は以上の構成よりなる楽譜である。

【発明の効果】**【0005】**

これまで音感の良くない者は歌手の歌うのを聞きながら、また、同時に楽譜を見ながら覚えていた。しかし、いざ歌うと歌えない。違いを探すのに何度もくり返して歌手の歌を聞きながら、同時に楽譜を見ながら覚えていた。これを解消するものである。

30

【発明を実施するための形態】

これまでの楽譜を五線上に音譜文字で表記する形態について別紙図面にて説明する。

【図 1】

図面代用写真(カラー)



【図 2】

図面代用写真(カラー)



図1の楽譜を図2の五線上に音譜文字で表記する事により音楽に精通していない者でも音符の長短や高低が一目で分かり、歌いやすくなる。カラオケで高得点を望む者としては、これまで限界と思っていたものが、高得点でない理由を認識することが出来、再度、高得点をねらって歌う楽しみを味わえる。このことを目的としたものである。

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月12日(2012.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音の長短を 〃 の長短で表し、高低は 〃 を五線上に配置する事で表し、 〃 の中には歌詞をひらがな、カタカナ、アルファベット、長音符号、休止符のいずれか一種以上を書き込み、カラオケを歌いやすくすることを特徴とした歌詞付き楽譜。

【請求項2】

請求項1記載の歌詞付き楽譜を、テレビ、カラオケ、ゲーム等の表示媒体に表示する事。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

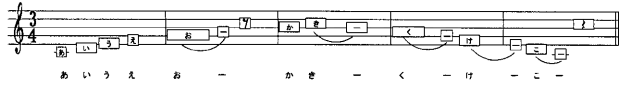
【 図 1 】

: 従来の歌詞付き楽譜の例



【 図 2 】

: 本発明の歌詞付き楽譜の例



【 手続補正書 】

【 提出日 】平成24年12月12日 (2012.12.12)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】明細書

【 補正対象項目名 】全文

【 補正方法 】変更

【 補正の内容 】

【 発明の詳細な説明 】

【 技術分野 】

本発明は歌詞とメロディーを表示する歌詞付き楽譜に関する。

【 0001 】

この発明は、これまでの歌の本では音譜と歌詞が別に表記してあり、音楽を専門に勉強しない人にはうまく歌えない。これを解消して普通の人でも簡単に歌えるようにするものである。

【 背景技術 】

【 0002 】

従来、音符の、長短は歌詞と別表記であり、歌詞を見ながら音符を見て、又は音符を見ながら歌詞を見て歌っていた。訓練とか慣れが必要であった。

【 発明の概要 】

【 0003 】

これには、次のような欠点があった。

従来、カラオケを歌う時、歌手の歌を聴きながら、また同時に楽譜を見て覚えていたが、どうしても音符の高低、長短、伸ばす所、休符が分かりにくかった。

音感の良くない者は、歌手が歌うのを聴きながら、また、同時に楽譜を見ながら覚えてきたが、いざ歌うとなると歌えない。違いを探すのに何度も繰り返して歌手の歌を聴きなが

ら、同時に楽譜を見ながら覚えていた。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本発明の歌詞付き楽譜は、音符の代わりに、歌詞入りの を五線上に表記しており、この事により、簡単に上手に歌う事が出来る。

本発明はこのような歌詞付き楽譜に関する。

【発明を実施するための形態】

【0005】

従来の歌詞付き楽譜は、例えば図1の様に、音符と歌詞が別表記であり、音の高低・長短・歌詞を一度に把握することが難しかった。

【0006】

本発明の歌詞付き楽譜は、例えば図2の様に、五線上において、音符の代わりに を使用する事を特徴とする。 自体の位置の上下により音の高低を示し、 の幅の長短により音の長短を示しており、更に歌詞が の中に表記されている事を特徴とする。また、 と は音符同様にスラーでつないでも良い。

これにより、歌詞の音程の上下と音の長さの長短を、一度に、直感的に把握する事が出来るようになるものである。

【0007】

本発明の歌詞付き楽譜においては、[0006]記載の五線上の歌詞入り による表記と合せて、従来の五線下に記載されている歌詞を併用してもよい。

【0008】

この歌詞付き楽譜の使用は、紙媒体に限らず、テレビ、カラオケ、ゲーム等のあらゆる表示媒体を通して使用することができる。

本発明の歌詞付き楽譜の表示媒体への表示自体も本発明に含まれるものである。

【発明の効果】

【0009】

本発明により、音楽に精通していない者でも歌詞の高低、長短が一目で直感的に分かり、歌いやすくなる。カラオケやカラオケゲーム等で高得点を望む者としては、これまで限界と思っていたものが、高得点の出ない理由を認識し、修正する事が出来、再度、高得点をねらって歌う楽しみを味わえる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】従来の歌詞付き楽譜の例

【図2】本発明の歌詞付き楽譜の例 1) は音の高さに合せて、5線上に配置する。

2) 音の長短に合せて の幅を設定する。3) の中には、ひらがな、カタカナ、アルファベット、長音符号、休止符のいずれか一種以上を書き込むことが出来る。4)

のなかに1文字以上記載しても良い。5) と はスラーでつないでも良い。